

知っていましたか？ ダメージヘアになる原因

広がったり、からんだり、ツヤがなかったり、パーマがかかりにくかったり。
髪の毛に関するさまざまなトラブルの原因は、実は日々の何気ないお手入れにあります。
正しい知識を身につけ、ダメージを防ぎましょう。



熱



ドライヤーやアイロンなどの高熱は、髪や頭皮に対して大きな負担となります。低温のものを使用するか、できるだけ離して使用しましょう。

摩擦



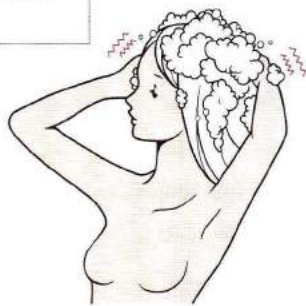
タオルドライやブラッシングなどで強い摩擦を与えると、キューティクルのダメージにつながります。ゴシゴシとこすらず、そっと押さえるようにやさしく扱きましょう。

紫外線



紫外線は、髪はもちろん頭皮に対しても影響が大きいため、日頃からのUV対策は必須です。髪や頭皮のUVケアを考えた商品を使うことで、ダメージを軽減できます。

薬品



カラーやパーマなどの薬品や、髪に残る「コート系ポリマー」のシャンプー、トリートメントは、髪をデザインしたり、一時的にツヤを出すことは可能ですが、髪に悪影響を与えることもあります。自分の髪に合ったものを選びましょう。